

まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 Tel.0997-42-2911 FAX0997-49-1018



新年あけまして おめでとうございます



かねてから当財団（屋久島環境文化村センター・研修センター）へ御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄され、影響を被られた皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、事態が一日も早く収束することを願うばかりでございます。

皆様にとって今年一年がよい年となりますよう職員一同心より御祈念申し上げます。本年もよろしく願い申し上げます。



WooDay



屋久島の木を味わうイベントを、屋久島環境文化研修センター×世界遺産センター×屋久杉自然館合同で開催します！

屋久島の木に関わる人たちで 2020 年に作られた木繫プロジェクトや熊毛流域森林・林業活性化センターとも協力し、木と触れ合う様々なブースを設置予定です。

日時：2月21日（日）10:00～15:00（予定）

場所：研修センター・屋久杉自然館

* 詳細については後日お知らせします。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、実施する予定です。
- 今後の状況によっては中止する場合があります。

【令和2年度自然・文化体験セミナー 屋久島感動めぐり】

サステナブルな社会について考える！ 草木染めワークショップ

草木染めを通して、身近なモノのウラガワをのぞいてみませんか？

- ・日 時：1月31日（日） 9：30～15：00(予定)
- ・場 所：研修センター
- ・対 象：島内在住の18歳以上の方
- ・定 員：10名（先着順）
- ・参加費：500円（材料費・保険料等込み）
- ・内 容：染物レクチャー、草木染め体験等
- ・締 切：1月22日（金）
- ・問合せ・申込先：研修センター ☎46-2900 小泉



今日から昆虫と暮らそう！ 冬のクワガタ探し

今回は冬の7000年の森で、夏の代表的な昆虫・クワガタを中心とした昆虫を探します。

- ・日 時：2月14日（日） 10:00～(予定)
- ・場 所：研修センター周辺
- ・対 象：18歳以上（親子参加可）
- ・定 員：10名（先着順）
- ・参加費：500円（保険料等込み）
- ・内 容：クワガタの採集飼育方法解説等
- ・締 切：2月7日（日）
- ・問合せ・申込先：研修センター ☎46-2900 渡邊

【参加にあたって（新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて）】

- マスクの着用をお願いいたします。
- 「3密」を回避できるように配慮いたしますが、当日のご協力をお願いいたします。

【小杉谷・石塚写真展】

文化村センターにおいて、1月15日（金）～3月31日（水）の期間、小杉谷閉山50周年を記念し、「小杉谷・石塚写真展」を開催します。閉山までの50年のあゆみを写真等で振り返ります。この機会にぜひお越しください。



インストラクターだより

『大人の世界と子どもの世界』

インストラクター 丸山 悟

1枚の葉を見たとき、みなさんは何を感じますか？考えますか？

子どもを見ていると、同じ世界なのに見えているものが違うと感じる瞬間がたくさんあります。例えば、大人が通り過ぎてしまうような葉1枚でもじーっと見て離れないときなど。葉1枚で楽しめる世界とは？その違いはなんなのでしょう？

子どもの世界とは、私はすべてのことが新鮮で輝いている世界のような気がします。だから、葉1枚に立ち止まり、それが意味を知りたくて、そのうち「なんで？」と大人に聞き始めます。そして、その意味を知ったように思うと、いつしかそれらがあることは「当たり前のこと」となっていくます。その彩りを葉に感じなくなり、他のことを考えることに頭を使っている世界が、多くの大人の世界なのではないでしょうか。それは、考えることが多くなった世の中で生きていくために、必要なことなのかもしれません。

しかし、考えることに脳を使い、感じることを制限している大人の表情は、子どもとは異なります。逆に赤ちゃん・子ども・動物は、感じる世界を生きていて、生き生きとしているように見えるのではないのでしょうか。子どもと森に行くことは、感じる世界に立ち戻ってみる心地よさを教えてくれます。子どもが自然の中に行かなくなっていると言われる今の世の中は、大人が立ち返る大切な瞬間も失っているのです。きっと、そんな時間を作ることが、人間本来の何かを思い出す大切なことなのだと、子どもと過ごしていると感じます。

みなさんには、今日の前の世界がどれだけ彩り鮮やかに、輝いて見えていますか。



◆◇財団の活動報告◆◇

【屋久島こども森のあそび場】

12月5日（土）に、第1回目の幼児環境教育事業「7000年の森でわくわく自然遊びの会」を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から縮小してイベントを開催し、当日は6名の方にご参加いただきました。天候にも恵まれあたたかな日差しの中、研修センター周辺の森で宝物を探したり、落ち葉や木の実に、秋・冬の訪れを感じたりと、盛りだくさんの一日となりました。



【屋久島研究講座】

12月12、13日、屋久島学ソサエティのテーマセッションを屋久島研究講座として共催しました。

今回はコロナ禍の影響を考慮し、オンラインでの開催としました。参加者からは、「オンラインは思ったより簡単で参加しやすい」などのご意見もいただき、今後の参考にさせていただきます。



『屋久島を想う』

アテンダント 本藤 愛美



4月から文化村センターで働きはじめました。屋久島は、自分が育った島で、よく知っているつもりで、ただ世界自然遺産であることを誇りに思っていました。

コロナの影響で閉館している間、研修センターの皆さんから屋久島について教えて頂く機会がありました。研修を受けて、自分が知っていることはほんのわずかで、屋久島にはもっとたくさんの魅力があることを知り、改めて屋久島のすばらしさに気づくことができました。

この研修をきっかけに、屋久杉の著名木をすべて見ることを目標にしました。

白谷雲水峡とヤクスギランドの杉は見に行き、次は縄文杉ルートを見ようと思っています。

実際に見た景色や勉強したことを、来館されたお客様に伝えたいです。

☆ **スタンプラリー実施中** ☆ 3つの博物館でスタンプを集めて景品をゲットしよう！ (2021.3.31まで)

対象施設：屋久島環境文化村センター(宮之浦)・屋久杉自然館(安房)・歴史民俗資料館(宮之浦)

【休館日】

○村センター 1/12(火)・1/18(月)・1/25(月)・2/1(月)・2/8(月)・2/15(月)・2/22(月)

○研修センター 1/12(火)・1/18(月)・1/25(月)・2/1(月)・2/8(月)・2/15(月)・2/22(月)

